

時代を先取りした産業用熱交換器の開発で、先進的のものづくり中小企業として存在感を発揮

同社は、産業用フィンチューブ式熱交換器の専門メーカーとして、70年以上の経験と産業用フィンチューブ式熱交換器シェアの40~50%を占める。年間約5,000セット以上の出荷実績を誇り、高い技術力に裏打ちされた提案やアドバイスは、業界で高い評価を得ている。また、「大阪ものづくり優良企業賞『匠』2016」、「第5回シマノものづくり大賞・特別賞」等に認定されている。最新鋭工場が2020年12月から本格稼働し、堺市の先進的のものづくり中小企業として存在感を発揮している。

所在地 大阪府堺市美原区大保210-1
電話/FAX 072-361-3085 / 072-362-2094
URL <https://sakaigawa.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 眞田 博之

設立 1947年
資本金 1,200万円
従業員数 48人



同社の産業用熱交換器は、顧客の現場環境改善と生産効率化に大きく貢献

同社は創業以来、常に時代に要求される熱交換器を製造してきた。今日では採用される分野も多岐にわたり、年間約5,000セットの熱交換器を製造している。新開発したフィンによる新しい高効率フィンチューブ式熱交換器では、従来品と比較して約15%もの能力向上を実現した。これは、工程の変更や生産性を維持しつつ、熱交換器の性能を向上させることのできる画期的な技術である。このように、同社独自の技術開発力が、多くの顧客からの信頼を得、ひいては、わが国の先端産業の一翼を担っている。



高効率ステンレス熱交換器放熱フィン

新工場への最新設備導入とテレワーク環境の整備で、業務推進体制を安定化

2020年12月から稼働している新工場については、最新設備を導入し、現工場を含め1.5倍の生産スペースを確保した。これにより、新型コロナウイルス感染症によって一旦停止・延期となった多くの案件が、コロナ禍後に一気に再始動する局面が来たときに、十分に対応できる体制を整えることができています。また、インターネット環境を全社的に強化することで、新型コロナウイルス感染拡大時や自然災害時においても自社の情報の共有体制を盤石化し、迅速な決裁により企業活動を維持する体制作りを心掛けています。



新工場の外観

保有技術の用途開発は、同社のコア取り組み事項と位置づけている

同社は、創業から今日まで産業構造の大きな変化にも、技術開発をもって常に新しい商品で対応してきた。公的試験研究機関、大学、自治体支援機関の積極的な協力のもと、今日に至っている。今回開発した高性能熱交換器についても、大阪府立大学、(地独)大阪産業技術研究所、(公財)堺市産業振興センターの強力なバックアップ体制で実現したものである。しかも、地元である堺市からの技術開発助成金の獲得にも積極的に取り組んでいる。これらの取組により、同社では、ものづくり企業としての数々の賞を受賞してきた。



第5回シマノものづくり大賞・特別賞